

いわみざわ男女共同参画マガジン

ア・ライク

ア・ライク (A'like) ~共に生きる~
〈同様の・等しく〉という意味を持ちます。

2019年 VOL. 17



〈岩見沢名所探訪シリーズ④〉

玉泉館跡地公園

明治 37 年から昭和 54 年まで、温泉旅館「玉泉館」の庭園として親しまれていた跡地を改修、整備した日本庭園です。庭園内には、池を中心に散策路が設けられ、春は桜、秋には紅葉を楽しむことができます。また、太鼓橋で結ばれた中島には茶室「玉泉庵」があり、静かな庭園の中で茶の湯を楽しむことができます。

コンテンツ

- 特集 北海道胆振東部地震を経験して
- 日本女性会議 2018 in 金沢
- あ・らいくな人
- 市民会議の活動報告

特集 北海道胆振東部地震を経験して

昨年の9月6日に起きた胆振東部地震は、就寝中に突然、最大震度7の地震に襲われました。地震発生直後に北海道は離島を除く全域で停電となる「ブラックアウト」の事態に陥りました。岩見沢市でも最大震度5弱の揺れを観測し、停電で不便な生活を余儀なくされました。未だに、一連の地震活動も続いており、2月には最大震度6弱の揺れが観測されました。今後、いつ地震が起きてもあわてず、落ち着いて行動するために、日頃の備えについて改めて考えてみませんか？

北海道胆振東部地震発生からの岩見沢市のタイムライン

9月6日

3:07

地震発生!

震源地：胆振地方中東部

市内の震度 { 震度5弱：栗沢支所
震度4：市役所、北村支所

市内全域停電

北村の一部で断水発生
4:00に復旧

4:05

岩見沢市災害対策本部設置

6日・7日
JR：全線運転見合わせ
中央バス：全線運休

5:21

避難所開設（10か所が順次開設）

スーパーに買い物客が大行列
ガソリンスタンド入口に、給油のための車が大渋滞



13:05

停電一部解消（市役所周辺、日の出小周辺、志文小周辺）
市役所、北村支所、栗沢支所において携帯電話等充電サービス開始
（電力の復旧した避難所でも順次拡大）

広報車で停電の状況と携帯充電サービスの周知



20:00

停電一部解消（北村・栗沢両支所周辺、第一小周辺、幌向ほっとかん周辺）

9月7日

22:15

停電一部解消（岩見沢小周辺、東光中周辺、美流渡中周辺）

8日 JR：函館線一部運転開始
室蘭線運転見合わせ
中央バス：全線通常運行

9月8日

3:00

市内ほぼ全域で停電解消

広報車で停電の状況を周知

9:00

16:30

市内全域停電解消

ON



16:40

全避難所閉鎖、岩見沢市災害対策本部解散



（情報提供：岩見沢市総務部防災対策室）

■ 地震発生後、どんなことで困りましたか？

ラジオをつけたが震源地や札幌の様子を伝えるばかりで、岩見沢の情報が得られなかった。	停電が長くて、冷蔵庫の中の食品が傷んでしまい、全部捨てた。		
携帯電話の充電が減っていき、家族と連絡が取れなくなったらどうしようと不安になった。	停電で炊飯器も電子レンジも使えなかったので、ご飯を食べられなかった。		車庫の電動シャッターが開かなく、車を出すことができなかった。
停電でタンクレストイレの水が流れず、バケツで水を運び、手動で水を流した。	SNSでいろいろな情報が送られてきたが、デマが含まれていて困った。		停電で温水器が使えず、シャワーを浴びることができなかった。

■ これをしていて良かったことは？

冷凍室に多めにストックしておいた保冷剤を冷蔵室に移動させたので、食品が傷むことはなかった。	本棚、食器棚にストッパーをしていたので、倒れてものが落ちることはなかった。
ベッドサイドに携帯ラジオ、懐中電灯、スリッパ、携帯電話を置いていた。	モバイルバッテリー（携帯型充電機）があったので良かった。
玄関脇の戸袋に非常持出しバッグを用意していた。	各部屋に懐中電灯を置いていたので、探さず使うことができた。

■ 地震発生後、こんな用意・取組みもしました！

懐中電灯の置き場所を確認した

車のガソリンを常に半分以上入れておくようにした

モバイルバッテリーを購入した

非常食を購入した

カセットボンベのストーブを購入した

ランタン、ソーラー携帯充電器を用意した

防災用の袋を作って防災グッズを入れた

非常持ち出し品・備蓄品を用意しましょう！

必ず必要とするもの

- 飲料水（1人1日3ℓが目安）
- 非常食（アルファ米、レトルト食品）
- 簡易トイレ 携帯ラジオ
- 灯りになるもの（懐中電灯、ランタン）



必要に応じて備えるもの

- 救急用品セット（絆創膏、消毒液等）
- 衛生用品（マスク、ウエットティッシュ）
- 乾電池 笛 軍手
- 運動靴、長靴



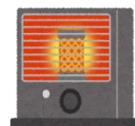
あったら便利なもの

- 風呂敷 雨具（傘等）
- 水用ポリタンク 食品用ラップ
- ジッパー付き袋 モバイルバッテリー
- カセットコンロ・ボンベ



冬に備えて必要なもの

- 石油ストーブ・灯油
- アルミブランケット 毛布
- 防寒ウェア カイロ 新聞紙



電気を使用しない暖房器具を準備しましょう。

年齢や性別などによって必要なものがあります

◆女性の場合

- 鏡、くし、ブラシ 化粧品類 生理用品
- 防犯ブザー 中身の見えないゴミ袋

◆高齢者がいる場合

- 紙おむつ 常備薬 健康手帳
- 生活必需品（杖、メガネ、入れ歯、補聴器等）

◆乳幼児がいる場合

- 粉ミルク 哺乳瓶 離乳食 着替え
- 母子手帳 紙おむつ おしりふき

このほかにも、食物アレルギーがある方、在宅で医療機器を使用している方など、状況に応じた備えが必要です。

ちなみに、市販の防災リュックには…

- 水
- 非常食
- 携帯トイレ
- 笛
- アルミブランケット



などが入っています。

必ずしも、専用の防災リュックを購入する必要はありません。これを参考に手持ちのリュックなどに必要なものを入れて、準備することもできます。

Q 市の備蓄品って何があるの？

市の防災対策室に聞きました。



- アルファ米 ・缶詰パン ・毛布 ・救急箱
- 簡易トイレ（テント、便座） ・避難所用シート
- ストーブ ・アルミブランケット ・マスク
- プライベートテント ・ウエットティッシュ
- 紙おむつ ・生理用品 ・粉ミルク ・哺乳瓶

これらの備蓄品が一部の避難所等に保管されています。しかし、緊急かつ最低限の物資ですので、各家庭でも日頃から備蓄品を用意しておくことが大切です。

年に一度は点検を！
使用期限や消費期限を
確認しましょう。



今回の地震を経験して…

地震は、いつ起きるか分かりません。もしかしたら、明日かもしれません。いつ、地震が起きてあわてないように、日頃からの心がけが大切です。

日にちが経ってしまうと、だんだんと防災意識も薄れてしまいますので、改めて防災について家族で確認し合ひましょう。

日本女性会議2018in金沢

日時：平成30年10月12日（金）～14日（日）

場所：石川県金沢市 金沢歌劇座ホール他

大会テーマ：たたえようこれまでの道 彩ろう未知なる明日

日本女性会議は、1975年の「国際婦人年」とそれに続く「国連婦人の10年」を記念して、1984年からスタートし、全国から2000人規模の参加者が集う男女共同参画をテーマとした国内最大級の会議です。男女共同参画社会の実現に向けた課題の解決策を探るとともに、参加者相互の交流の促進や情報のネットワーク化を図ることを目的として開催されています。今回で35回目となる金沢大会に実行委員3名と事務局1名が参加しました。



金沢素囃子保存会による演奏

1日目、メイン会場の金沢歌劇座ホールでは、金沢市の無形文化財、加賀百万石が誇る伝統芸能である金沢素囃子保存会による演奏で華やかに幕を開けました。

開会式、内閣府男女共同参画局長の基調報告を終え、分科会会場へシャトルバスで移動。9つある分科会のうち、私たちは、第7分科会に参加。「#MeTooから#WeTooへ 私たちはもう我慢しない」をテーマにした分科会の冒頭では、コーディネーターを務めた社会学者上野千鶴子さんが性被害や差別に声をあげる人への抑圧の大きさを指摘しました。

講演に続くパネルディスカッションには、性暴力被害を実名で刑事告発したジャーナリストの伊藤詩織さんらが登壇し、性暴力やハラスメントをめぐるそれぞれの経験や思いを語りました。



開会式

一番印象的だったのは、伊藤さんが「戦って得たものは」という質問に「笑顔です」と答えたこと。会場が大きな拍手で湧きました。

1日目の最後に開催された交流会では、美味しい地酒と旬の魚、地元の素材を活かした金沢の郷土料理を味わいながら、全国各地から参加された方々との交流がありました。思いがけず会場に現れた上野千鶴子さんを囲んでの記念撮影。とても楽しい一時でした。

2日目の午前、宝生流能楽師松田若子さんによる記念講演からスタート。男性主導の能楽界において活躍する傍ら、妻として母として日々奮闘。パワフルに歩まれた人生についてお話されました。

午後は、遊学館高等学校吹奏楽部の迫力ある演奏の後、『これからの生き方・働き方のカタチ～「結婚」の選択肢が不人気なわけ～』と題して、テレビでもおなじみの内科医おたわ史絵さんによる記念シンポジウム。医局の面接で「女医はいらない」と言われたこと等をあげ、他のシンポジストの皆さんと現代女性が抱える生き方や働き方の問題について講演されました。

閉会式では、次年度開催地の栃木県佐野市長からメッセージがあり、全日程が終了となりました。



上野千鶴子さん（左から2人目）とパチリ！



来年開催地から「さのまるくん」がPR



岩見沢市町会連合会の会長として日々、活躍中！

ちば おさむ
千葉 修 さん

【プロフィール】

年齢：71歳（1947年3月生まれ）
出身：釧路町
職業：土木建設会社社長
趣味：スポーツ鑑賞（なんでも）
特技：野球やスケート、アイスホッケーをやっていたが特技といえるかどうか…
座右の銘：絆

東海林代表をはじめ市民会議実行委員4名が、岩見沢町会連合会事務所内において、町会連合会長の千葉修さんにお話をお聞きしました。

◆会長に就任されてからのお気持ちは

東海林 町会連合会会長に就任されて、半年経ちましたが、現在のお気持ちをお聞かせください。

千葉会長 忙しくて自分の仕事をする暇がないくらいです。町連の会長になると市の関係や社協の関係などで、いろいろと役職がつくので、町連以外の会議も多く、町連の仕事よりもそちらの仕事の方が多く感じています。

◆釧路と岩見沢の違いは

東海林 釧路町から岩見沢市に来て36年とこのことですが、もともと岩見沢には縁があったのですか。

千葉会長 仕事の関係で釧路から石狩沼田に行って、そこから岩見沢に転勤になり岩見沢に住むようになりました。

東海林 釧路町と岩見沢市の違いは何かありますか。

千葉会長 岩見沢は暖かいし気候がいい。ちょっと雪が多いけど、釧路はしばれるので寒い。釧路に比べこっちは天国ですよ。気候以外では、釧路は漁師の町で、炭鉱の町でもあるので、漁師は遠洋漁業に出ると必然的にその家族同士や近所の人達は協力し合うし、炭鉱は長屋で共同住宅のようなどころがあるので、人のつながりみたいなのは釧路のほうが強いかなと感じます。



◆町会活動で、特に印象に残っていることは
東海林 ご自身の町会活動で、特に印象に残っていることや、やりがいがあったと思ったことはありますか。

千葉会長 地震の時に、日頃は隣近所とのお付き合いがなかったおばあちゃんから、乾電池がなくて困っていることを聞いて、乾電池を届けてあげたら、すごく感動してくれたのが嬉しかったです。

小笠原 会長の座右の銘でもあります「絆」を町会で強くするために必要なことは何でしょうか。

千葉会長 岩見沢で町会の絆を深めるためには、地域自主排雪をするのが一番良いかもしれないと思います。私の町会は、地域自主排雪をするようになってから、すごく変わりましたよ。見ていると排雪作業が始まると自分の家だけでなく隣近所お互いに手伝いながら作業をしています。



ひとつの例として地域自主排雪を挙げましたが、身近な問題を町会の中で会話しながら協力しながら解決していくことで、地域の絆も強くなると思います。

◆女性の参加についての考え方は

東海林 町会連合会に女性を中心とした組織をつくるというお話を聞いていますが、その辺のお話をお聞かせください。

千葉会長 町会の活動は男性だけでできるものではありません。女性の力が半分以上ないと、成り立っていかないかもしれません。町会でも女性が参加しやすい行事、お母さんと子どもと一緒に参加する行事が増えると良いと思っています。きっと何の楽しみもないと参加しないと思うので、町会活動に興味を持つ楽しい行事を考え、みんなが参加して楽しくコミュニケーションが図れる雰囲気



気をつくってあげることができれば、女性の意識も変わってくると思います。

町連も女性の力が重要です。町連では、いま女性を中心とした組織づくりを考えて

いるところですが、女性が町連でどのような活動をしたいのか、女性の意見を反映させるにはどのような形が良いのかをしっかりと検討した中で、女性が参加しやすい組織をつくりたいと思っています。

河合 いま女性の町会長は何人いますか。

千葉会長 町連加入町会 214 町会のうち 6 町会が女性の会長となっています。

高岡 女性の組織づくりの考えをどのように各町会へお知らせするのですか。

千葉会長 今年度、アンケート調査の中で各町会長の考え方を聞いています。その回答を踏まえながら、町連役員で組織づくりの協議を進め、今後、常任理事会や総会でさらに協議を行い、研修会や町連つうしんなどで知らせていくよう考えています。

◆男女共同参画とは・・・

東海林 最後に会長さんは男女共同参画をどのように捉えていますか。

千葉会長 男女共同参画って基本的に男女が平等でなければいけない。だけど現状では平等にはなっていないと思っています。例えば、子どもが学校で怪我したり、熱が出たらすぐ母親を呼びますよね。そうじゃなくて、母親が仕事中に病院に連れて行かなくても良いシステムが出来ればいいと思います。ある程度お金をかけてでも、女性が仕事をしながら子育てができるシステムをつくっていかねばならないと思います。

男女共同と言いながら、子育てなど女性の負担が大きいことがまだ多いと思います。子育てに限らず、もっと男性と女性が協力し合うこと、それを支援するシステムをつくるのが大事なと思います。



穏やかな千葉会長のお人柄もあり、終始和やかな雰囲気での取材になりました。

【取材日：平成 30 年 12 月 21 日】

東海林代表が 北海道社会貢献賞（男女平等参画社会づくり功労者）を受賞しました

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議の東海林公子代表が、本年度の北海道社会貢献賞（男女共同参画社会づくり功労者）を受賞しました。

この賞は、男女共同参画社会の実現に力を注ぎ、女性の地位向上や女性の社会参加を推進する活動をした個人・団体を表彰するものです。

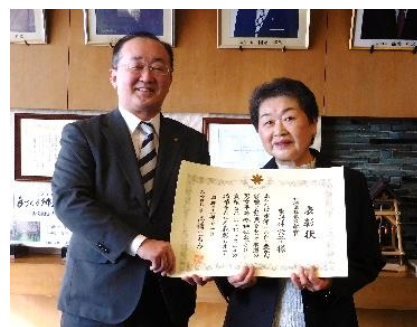
東海林代表は、平成 16 年の市民会議設立当初から現在まで代表を務められ、男女共同参画を推進するための様々な活動に率先して取り組んで来られた功績が認められました。



空知総合振興局の佐々木局長から伝達



受賞と一緒に活動してきたメンバーのおかげ。市民会議のみんなでいただいたと思っています。（東海林代表）



松野市長に受賞を報告

2018男女共同参画市民フォーラム

テーマ：みんなで築こう人権の世紀～考えよう 相手の気持ち 違いを認め合う心～

日時：平成30年6月24日（日）午後1時30分～3時30分

会場：北海道グリーンランドホテルサンプラザ

講演 いま、人権から 2018

講師 落合 恵子さん（作家）

冒頭、女性・高齢者・LGBTについてお話になった落合さんは、「人権とは誰の足も踏まないこと、同時に人権とは誰にも自分の足を踏ませないこと」と定義されました。この場合の足とは自分という存在のこと。人権侵害とは、ある時は被害者、ある時は加害者、ある時は無関心という加害者で、とても複雑なんですと話しました。

落合さんは人権活動に取り組む理由が二つあり、一つは終戦の年1945年に生まれたということ。人権の反対側にあるのは戦争だと話しました。二つ目は非嫡出子として生まれた落合さんがある日、母親に

問いかけたときの母の言葉。「出生について差別される側に生まれてきたあなたは、差別される側の人たちと柔らかく手をつないで、少しでも閉じられた扉を開けて行ってほしい。」この言葉が大きな理由だと、残念ながら母を見送ってから強くそう思うと話しました。

最後に人権の主演は皆さん一人ひとり、そのことを大事に考えながら、次の世代の子どもに手渡すのは何か、しっかり自分に問いかけていきませんか、と結ばれました。



応募総数 29名 75作品。
ご応募ありがとうございました。

第三回男女共同参画川柳コンテスト表彰式

フォーラムの開会に先立ち、男女共同参画川柳コンテストの表彰式を行いました。



<大賞>

エプロンを 揃えて分担 笑顔のGO

藤森 外史さん

<入選>

目で合図 あうんの呼吸 家事こなす

大野 美奈子さん

セクハラを 言葉あそびと うえ目せん

川村 友枝さん

子育てに 男女平等 母の意志

小林 英子さん

差別なき 職場でキャリア 積みあげる

高松 時子さん

新時代 男女を問わぬ 国作り

田栗 玲子さん

開催決定!! 2019 男女共同参画市民フォーラム

テーマ：絆ではぐくむ共生社会

日時：2019年6月29日（土）午後1時30分～午後3時30分

会場：北海道グリーンランドホテルサンプラザ（岩見沢市4条東1丁目）

講演：男女共同参画社会をめざして

講師：白井 文さん（前尼崎市長/人材育成コンサルタント）



※詳細については広報いわみざわ6月号、市ホームページ、ポスター等でお知らせします。

「ステップアップ講座」は、誰もがともにそれぞれの個性と能力を発揮し、社会のあらゆる分野に参画していくために学習機会を提供しています。今回もいろいろな専門の方をお招きし、施設見学を含めた5講座を開催し、多くの参加者が受講されました。

第1回 「地域での居場所づくりについて ～『心の側から』みてみる～」

北海道教育大学札幌校准教授 平野直己さん



自己紹介の後、「たい焼き・たこ焼き」タイプの人のお話から始めた平野さんは、教育大岩見沢校時代、フリースペース「ユリーカ」を開設しました。そこでは子どもたちばかりでなく大人も交流し、そこから様々なことを発見。誰かを支援することは自分の支援につながり、お互い様の思い、利害なしのナナメ関係の大切さは、地域コミュニティの輪作りとなると結ばれました。

第2回 「岩見沢の発展をもたらした『炭鉄港』」

NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長 吉岡宏高さん

蒸気のがるズリ山を見ていると炭鉱は生きていたと感じられたと話す吉岡さん。空知では人口減少と高齢化はすでに30年前から起きており、炭鉱の暗い過去を払拭しようとしてきた空知だが、その経験を活かし生きざまや思いを表現出来るのが『炭鉄港』で、その拠点には岩見沢。空知には目に見えない、お金には変えられない価値があり、日本遺産登録を願うと締められました。



第3回 「大人の社会科見学 ～市内公共施設を巡るバスツアー～」



最新設備がすばらしい！



きれいな調理所で
子どもたちの給食は安心！



分別ルールはきちんと
守ろうと思いました。

第4回 「人生の満足度を上げるストレス対策～DNA遺伝子気質活用法～」

(株)ユニバーサル・ジョブズ・インク代表取締役 宇治由美子さん



まず、両手の中3本指での笑顔マッサージから始まりました。ストレスとは自分の思い通りにならないこと、見通しがつかないことで、人間関係・お金・健康が三大悩みです。ストレス感情は神経伝達ホルモンの放出により現れ、その出方は遺伝子で決定されている気質によって左右されます。宇治さんは、ストレス対策はコミュニケーションをとって笑顔でと話されました。

第5回 「LGBTを知る～多様性を認め合う社会の実現～」

レインボーファミリー札幌代表 武藤義弘さん

武藤さんは自らが当事者であり、子どもの時の経験談を交えながら、「LGBTとは？」から「性の多様性」までをわかりやすく説明されました。まだまだ、周りの理解が得られず、ストレスを抱えて生活している当事者がいます。多様性を認め合う社会にするためには、当事者への配慮、個性を大切にする環境づくりが大事であると話されました。



市民会議の活動報告

男女共同参画週間講演会

平成 30 年 6 月 26 日 (火)

男女共同参画週間の一環として開催されている講演会。「電子メディアに奪われる子どもたち」と題して、子どもに及ぼすメディアの影響と子どもの心と体の育て方について学びました。



男女共同参画週間街頭啓発

平成 30 年 6 月 28 日 (木)

毎年、男女共同参画週間(6月23日~29日)に実施している街頭啓発。今年は、コープさっぽろ岩見沢南店で市民の皆さんへ啓発チラシ等を配布しました。



北海道立女性プラザ祭の参加

平成 30 年 11 月 8 日 (木)

午前の部が「女も男もわいわいセッション」、午後の部は講演会を開催。社会問題となっている様々な「ハラスメント」について、基礎知識や対応策について学習してきました。



女性に対する暴力をなくす運動 パープルリボンプロジェクト

平成 30 年 11 月 12 日 (月) ~ 25 日 (日)

DVについて、より多くの方に理解していただくために市役所とイオン岩見沢店でパネル展を実施しました。また、市内5か所で実行委員手作りのパープルリボンを無料配布しました。



編集後記

今年度は地震、台風、異常気象等が多くの自然災害を引き起こしました。9月には地震によるブラックアウトで平穏な日常生活が脅かされました。編集集中にも再び大きな地震が発生し、さらに強く防災の大切さについて実感しました。今回の「ア・ライク」は、胆振東部地震の被災経過を振り返って、もう一度防災について考えてみようとする特集を組みました。少しでも皆さんのお役に立つことを願っています。

市民会議実行委員募集中

いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議では、一緒に活動していただける実行委員を募集しています。

男女共同参画への理解を広めるため、岩見沢市と協働で様々な取り組みを行っていませんか。

年齢や性別などは問いません。ぜひお気軽に下記事務局までお問い合わせください。



発行 いわみざわ男女共同参画プラン推進市民会議

【事務局】岩見沢市総務部市民連携室 男女共同参画担当
〒068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎0126-23-4111 (内線 422)

E-mail : danjo@i-hamanasu.jp